

「パンの木」のタペストリーの作り方

使用クローバー用品

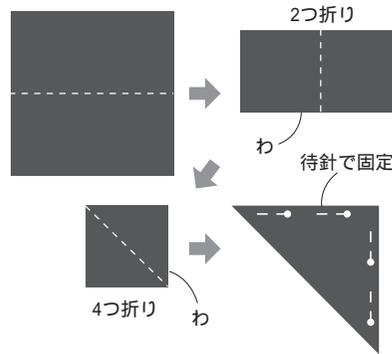
- ハワイアンキルトテンプレート... 01 パンの木(小)
- ハワイアンキルト針、キルトティングフット
- 布切はさみ、糸切はさみ
- 布用シャープペンシル 0.7mm
- パッチワーク待針、フープ、シンプル

使用材料

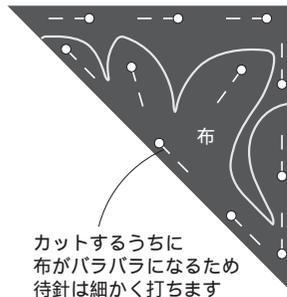
- アップリケ用布...24cm × 24cm
- 土台用布...30cm × 30cm
- キルト綿・裏打ち布...各30cm × 30cm
- バイアス布...50mm × 120cm分
- キルト糸、しつけ糸

仕上がりサイズ

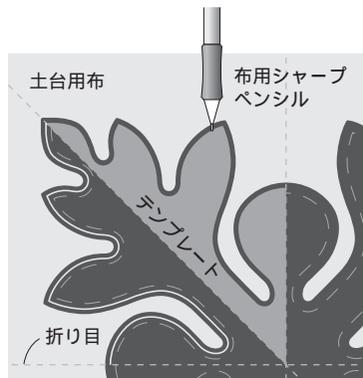
約30cm × 30cm



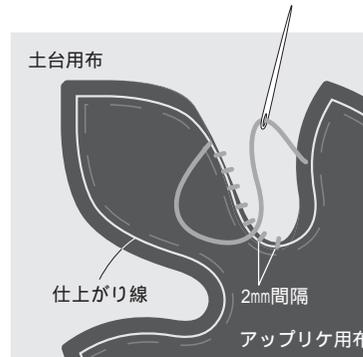
- ① アップリケ用布を4つ折りにし、さらに対角線に折りたたみ、待針で固定します。



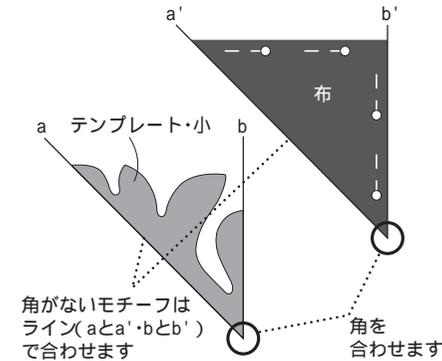
- ④ テンプレートははずし、しるしの外側と内側に待針を打ってから布をカットします。



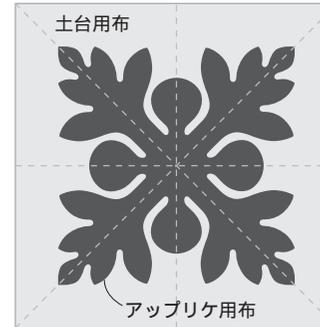
- ⑦ テンプレートをアップリケ用布の折り目に合わせ、全体に仕上がり線を描きます。



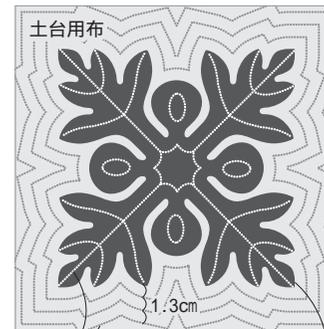
- ⑧ ぬい代を仕上がり線に沿って折り込みながら、アップリケ用布を土台用布にたてまつります(表面参照)。



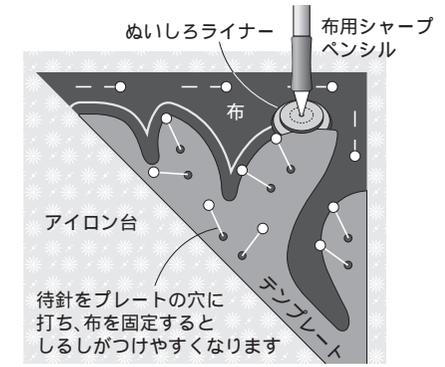
- ② 「ハワイアンキルトテンプレート・小」を図のように重ねます。



- ⑤ あらかじめ①の手順で折って広げた土台用布の上に、カットしたアップリケ用布をそれぞれの折り目が重なるように広げます。



- ⑨ 図を参考に、キルトラインを描きます。



- ③ 「ぬいしろライナー」を使ってしるしをつけます。



- ⑥ 布がたるまぬよう、中心から外側に向かって待針を放射状に打ち、図のようにしつけをかけます。

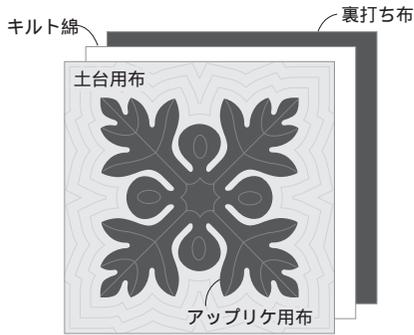
クローバーの便利用品

スライドゲージ・T

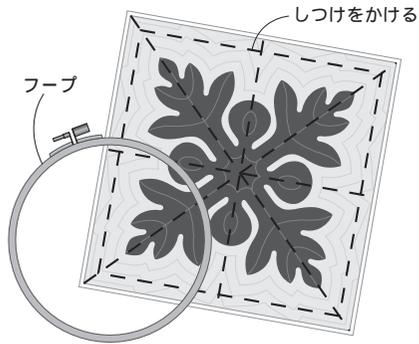


等間隔のしるし付けに最適な定規です。コンパス機能付き。





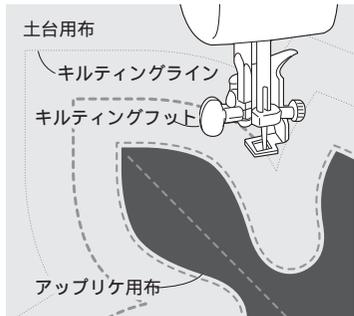
⑩ トップの布(アップリケ用布+土台用布)キルト綿、裏打ち布を重ねて、中心から放射状に待針をしっかりと打ちます。



⑪ 中心から放射状にしつけをかけてから周囲にもしつけし、フープにしっかりとめします。



⑫ アップリケ用布のすぐ際の土台用布に落としキルトをします。

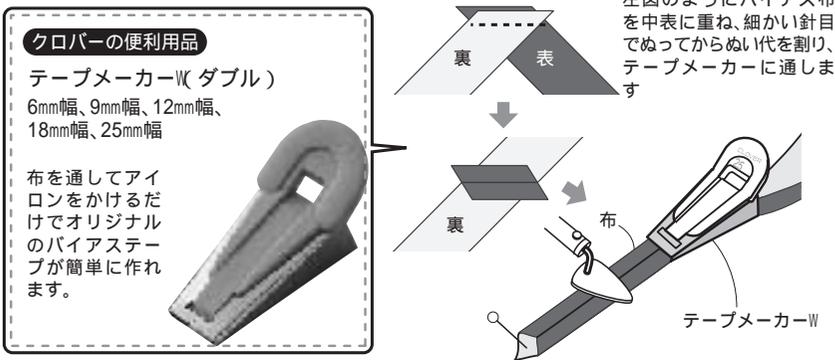


⑬ フープからはずし、キルティングフットでキルトラインに沿いながらキルティングします。

バイピング



⑭ トップの布の大きさに合わせてキルト綿と裏打ち布をカットし、周囲をバイピングしてできあがりです。



クロバーの便利用品

テープメーカー(Wダブル)

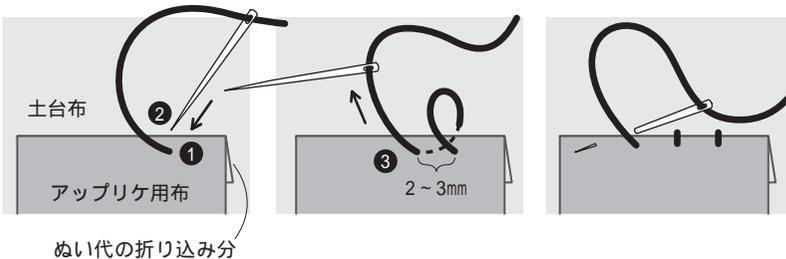
6mm幅、9mm幅、12mm幅、18mm幅、25mm幅

布を通してアイロンをかけるだけでオリジナルのバイアステーブが簡単に作れます。

左図のようにバイアス布を中表に重ね、細かい針目でぬってからぬい代を割り、テープメーカーに通します

⑭ クロバーテープメーカーW25mmを使って25mm幅のバイピング用布を作ります。

たてまつり...糸がほとんど見えないようにぬう方法です。



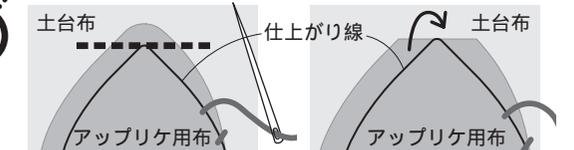
土台布

アップリケ用布

ぬい代の折り込み分

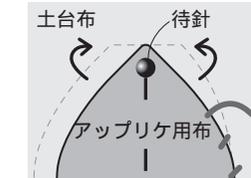
ハイアンキルトのアップリケ たてまつり をする

尖った部分 凸部分をまつりする方法

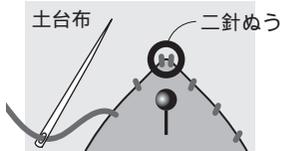


① 凸部分の2cmほど手前で針を休めます。

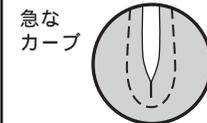
② 凸部分のぬい代を図のようにまっすぐ裏に折り込みます。



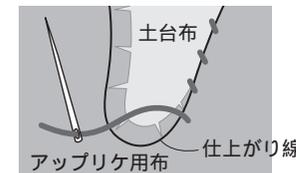
③ 次に、凸部分の左右のぬい代をそれぞれ裏に折り込み、待針ととめます。



④ 凸部分までたてまつりをし、そこで針を出して二針ぬいます。続きもたてまつりします。



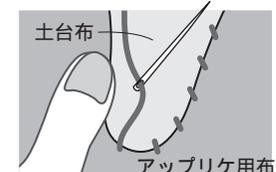
U・V部分 凹部分をまつりする方法



① 凹部分の1cmほど手前で針を休めます。



② 針を使ってぬい代を裏にしっかりと折り込みます。

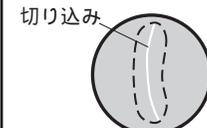


③ 折り込んだ箇所を針を持たない指でしっかりと押さえ、ぬい進めます。



④ アップリケ用布にやや深めにかかりながら、細かくたてまつりします。

凹部分のぬい代に切り込みを入れると、折り込みやすくなります。



小さくくり抜きたい所は、図のように切り込みを入れて折り込みます。